

NETIS登録番号:KT-180147-A

クラピア®

GREEN PRODUCE

イワダレソウ改良種

おかげさまで300万㎡以上の実績!

クラピア®

在来種を
改良し品種登録済

安心品質

芝の10倍で
緻密に地表を覆う

高速被覆

手間が少なく
管理費節約

コスト削減

環境対応・
景観改善に貢献

エコロジー



株式会社グリーンプロデュース



クラピアとは

雑草研究における日本の第一人者宇都宮大学の故倉持仁志講師が10余年の歳月をかけて生み出した品種登録済みイワダレソウです。クラピアは不稔性種子の特徴があり、環境に配慮したグランドカバープランツです。さらにクラピアK7は、日本国内のイワダレソウ在来種同士を交配・選抜により改良し能力を高めた改良在来種の選抜種です。

※ヒメイワダレソウは外来種です。

●クラピア品種

(全3品種とも種苗登録しております。)

クラピアK7

- 改良在来種の選抜種
- 耐病性を高めた
- 不稔性種子



花色 白色

クラピアK5

- 耐寒性品種
- 交雑種
- 不稔性種子



花色 薄ピンク

クラピアS2

- 花色紫ピンク色
- 交雑種
- 不稔性種子



花色 紫ピンク

※花色は環境により多少変化します。

※クラピア全品種は作成の「生態系被害防止外来種リスト」から除外されております。
クラピア品種に関しては、安心してご使用いただけます。

●クラピア規格

(※通年出荷可能)

ポット苗

(9cmポリポット)



出荷単位 40苗/箱

ミニ苗

(4.5cm連結ポット)



(ポットから外した苗姿)
出荷単位 144苗/箱

品種別について (ポット色分け)



K7 (黄色または黒) K5 (緑色) S2 (赤色)

出荷時の被覆率について



ポット苗

ミニ苗

ポット苗・ミニ苗出荷時クラピア被覆率70%以上(写真上)を標準としています。

※その他、植栽方法に適したクラピア苗の調製を致します。
※冬季は生産ハウス内で温度馴化させております。

ポット苗・ミニ苗の大きさ比較

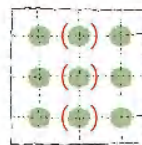


上部比較



横部比較

植栽基準について (メーカー推奨)



ポット苗4苗/m²

ミニ苗6~9苗/m²

※植栽基準は生育環境が整っている場合です。
※ミニ苗の植栽はシート併用の場合6苗/m²、裸地の場合9苗/m²を推奨しております。
※急斜面の場合は横へ広がりにくいためつめて植栽してください。
※植栽環境により植栽本数は異なります。
※法面の場合、千鳥植えする場合もあります。

クラピア生産苗について

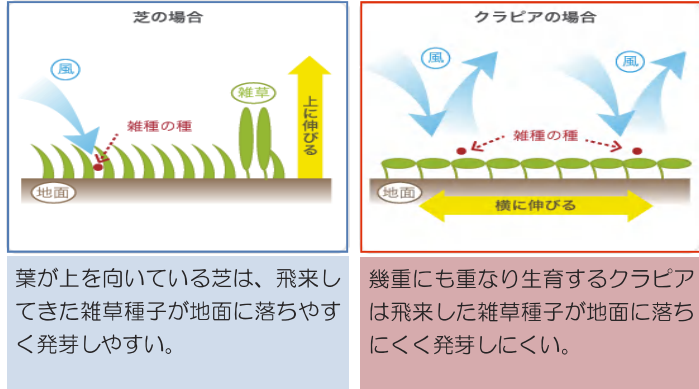


すべてのクラピア苗は、弊社農場(小山市・栃木市)で生産されております。品質に対する基準を設け日々生育管理を行い、出荷までの責任をもって行います。

クラピアの8つの特長

①雑草低減

地表面を緻密に覆うことで、雑草種子の侵入を低減する効果が期待されます。



③土壌流出防止

写真のように芝と違いクラピアの根は土壌深く張り、根量が多いことが特長です。この根が地下深くまで直根を伸ばすことで土壌をしっかりと抑え、法面保護や土留めにも適します。この特長は、乾燥に強い理由となり全面被覆後は水遣りをする必要は基本的にありません。



左：クラピア 右：芝

⑤耐塩性

クラピア原種は海岸沿いで生育し元々耐塩の高い特性を有しています。



EC10でのクラピアの生育状況

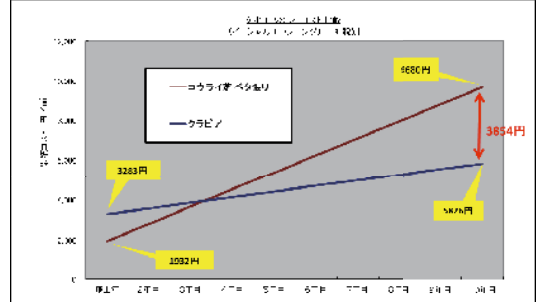
⑦耐踏圧性

芝生が擦り切れる場所では、クラピアも擦り切れてしまいましたが、生長力の強いクラピアは短期間に回りから再生し被覆します。クラピアは踏まれると葉が小さくなり、より緻密なマット状に繁茂し花数も少なくなります。



②維持管理コストの低減

クラピアは匍匐性で横に広がる性質のため芝生よりも定期的な刈込を低減できます。緻密に覆うことで雑草低減効果もあり、他の地被植物より維持管理コストを低減できます。下図はクラピアと芝を比較した図になります。イニシャルコストはクラピアの方が高くなりますが、毎年のランニングコストが安いので、3年目以降からのトータルコストはクラピアのほうが安くなっていきます。



④繁殖スピード

繁殖するスピードが速く、芝の約10倍の速度で広がり地表面を覆います。

写真：クラピア9cm苗 4苗/m²

生育経過



6月20日植栽

32日目

53日目

⑥不稔性種子

種を付けない改良をしました。植物の約50%が持っている特性に「自家不和合性」という性質があります。この自家不和合性の機能を品種改良時に加え、種子の逸脱等で意図しない場所に自生しないよう配慮致しました。

⑧多年生植物

日平均気温が10℃以下になると休眠に向かいますが、翌春には芽吹いて花を咲かせます。



様々な場面に合わせられる工法紹介

<① 直植え工法 >



一般的な植栽工法です。繁茂するまでは丁寧な草抜きをする必要があります。

<② シート併用工法 >



シートを併用することで雑草発生を抑えることができます。但し、植え穴からの雑草抜きは必要です。
NETIS登録番号:KT-180147-A

<③ シートキャップ工法>



シート+シートキャップ使用で植え穴からの雑草も抑えることができます。専用工具を使用することで総コストも②と同等になります。
NETIS登録番号:KT-180147-A

<法面事例> クラピアが得意とする場所で70°の急斜面の実績あります。 (推奨工法○…①②④⑤ △…③)



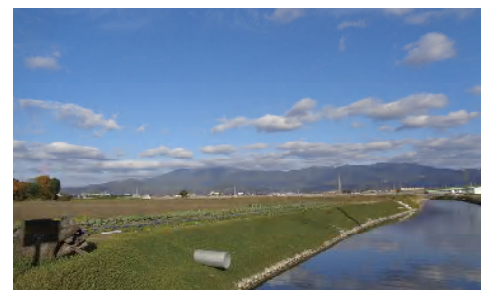
<道路事例> 国道・県道・構想道路など多くの道路で活用されています。 (推奨工法①②③④⑤)



<太陽光発電事例> 多くの太陽光発電所でご使用頂いております。 (推奨工法①②③④⑤)



<河川事例> 刈込・除草回数や集草作業が減らせ河川防草緑化に適しています。 (推奨工法①②③④)



<④ 吹付け工法 >



工期短縮を可能にする低コスト
大面積工法です。

<⑤ ゴーローン工法 >



工期短縮可能な大面積工法です。

<⑥ 屋上緑化工法>



屋上でも植栽することができます。

<個人宅庭事例> 芝生に比べ手入れも簡単なのでクラピアを植栽する方も増えています。 (工法①②)



<園庭や公園事例> 幼稚園の園庭や公園などで活用されております。 (工法①②)



<畦畔事例> シートを併用することで雑草発生をかなり抑制することができます。 (工法②③)



<その他事例> 様々な場所で活用頂いております。



駐車場 (①)

浄水場 (①②③)

校庭緑化(①④)

屋上緑化(⑥)

道の駅 (①②③)

クラピア関連商品

●クラピアシートシリーズ

クラピア専用シートは全4種類「通根仕様」です。伸びたクラピアから出た根がシートを貫通し自活できるための工夫です（通根性防草シート・植栽シートライトは別途チラシをご覧ください）。

※通常の防草シート（不通根タイプ）を使用すると伸びたクラピアの栄養は植栽苗から供給されることになり、数年で退化することがあります。

クラピアマルチシート クラピアバイオシート



規格 厚み 1.2mm
長さ 50m
幅1.0m/2.0m

素材 ポリエステル不織布
特長 **通根性抜群**



規格 厚み 0.7mm
長さ 50m
幅1.0m/2.0m

素材 ポリ乳酸長繊維不織布
特長 **生分解タイプ**

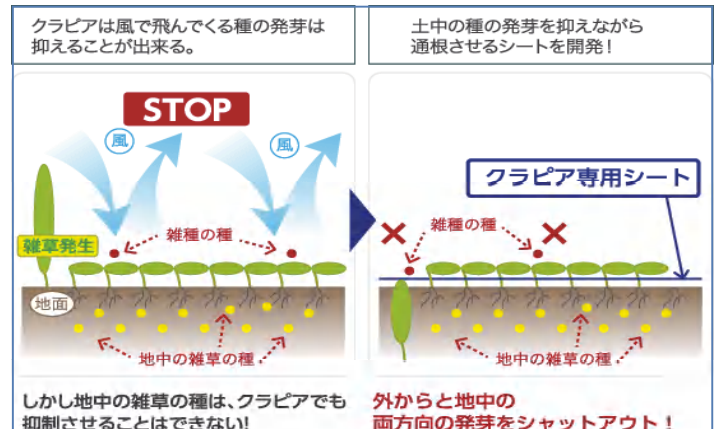
クラピアマルチシートの通根試験



表



裏



●有機一発肥料（推奨）

被覆肥料を配合した元肥一発タイプで6ヶ月間効果のある肥料です。クラピアの生育とともに徐々に肥料が溶け出す最適な肥料になります。植え穴に直接投入することもできるので肥料を無駄に使用することなくクラピアを生育させることができます。

成分量 (%) チッソ8 りん酸16 カリ10 苦土1

規格 20kg/袋 ・ 800g/袋

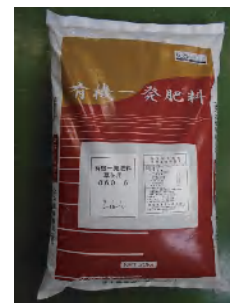
クラピア植栽時施肥量（土壌により施肥量は異なります）

9cmポット苗・ミニ苗 肥沃な土壌 6g程度（1杯）

通常土壌 12g程度（2杯）

真砂土・砂礫土 18g程度（3杯）

※ペットボトルのフタ1杯分が約6gになります。



20kgタイプ



800gタイプ

●シートピン

クラピアシートを留めるためのピンです。ピンはメッキ加工をしておりません。サビさせることで地面により密着させ抜けにくくするためです。

アンカーピン（写真上）

規格 φ4mm-U40mm × 25cm 入数 100本/箱

サブピン（写真下）

規格 φ3mm-U30mm × 15cm 入数 100本/箱



写真上 アンカーピン

写真下 サブピン

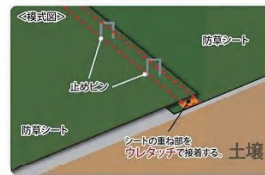
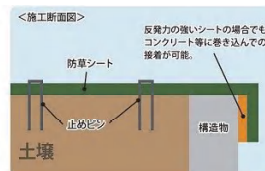
●シート接着剤 ウレタッチ

接着力が強く速乾性の高い接着剤です。シートの重ね部やシートとコンクリート構造物などの隙間を接着することで、光侵入による雑草発生、風による捲れを防止します。

規格 特殊ウレタン 容量 500ml
使用目安 約15m/本



アルミパウチにノズルを取り付け、手で搾り出しながら使用します。



●高アルカリ材（雑草抑制商品）

高アルカリ材は表土に用いることで雑草発生を抑制する効果があります。

クラピアウイードレス

出荷単位 1tフレコン（810ℓ）

大面積用

1t = 約16㎡分
（厚さ5cm計算）



有機石灰貝化石

出荷単位 20kg×5袋（110ℓ）

小面積用

100kg = 2㎡分
（厚さ5cm計算）



写真 ph12での試験

クラピアは高アルカリ土壌でも生育することができる植物です。

シート併用工法・シートキャップ工法の詳細説明

NETIS登録番号:KT-180147-A

クラピアシート併用工法

シートを併用することで雑草発生を抑制しながらクラピアを繁茂させる工法です。クラピアの直植でも雑草抑制効果はありますが、土中にある雑草種子はいずれ発芽してしまい雑草処理が必要になります。シートに植え穴を開けるため、そこからの雑草発生が一部あります。しかし直植えに比べ格段に雑草処理の手間が軽減されます。



シートを張る前には整地をしてください。シート切り込みは植栽苗と同等の大きさを開けてください。



植え穴からの雑草を除去してください。クラピアの生育の妨げになります。

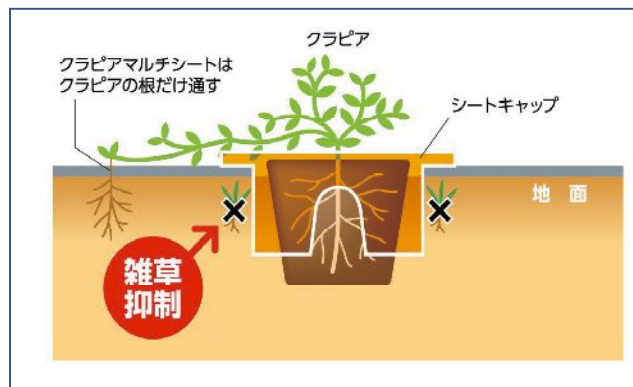


環境や植え付け時期によりますが、2~3ヶ月で全面繁茂します。雑草が発生したら除草をおこなってください。

シートキャップ工法（特許出願中）

植栽場所にシートを張り、専用バーナーでシートに穴を開け専用のドリルで植栽穴を掘ります。掘った土はソイルキャッチャーで残土を回収するのでシート上に土は残りません。掘った位置にシートキャップはめ、シートに空いた植え穴を密閉し、クラピアを植栽する工法です。この工法により植え穴からの雑草発生が格段に減少し草抜きの手間から解放されます。専用バーナー・専用ドリルで植栽工事が格段に早くなり、材工費ではシート併用工法と同等程度になります。

※専用工具はグリーンプロデュースがレンタル致します。



（張芝）



（クラピアシートキャップ工法）



シートキャップ

シートで雑草の発芽を抑制し、植え穴からの雑草発生もシートキャップで抑制します。専用工具を使用することで誰が施工しても精度はほとんど変わりません。

*7月施工、2ヵ月後の様子。この間除草せず。芝は雑草に負けたが、クラピアシートキャップ工法は雑草の進入を許していない。

植栽時の留意点

■土壌について

- ・粘土質、砂質、水はけの悪い場所、土壌硬度21mm以上では土壌改良が必要です。
- ・適度に水はけの良い土壌が最適です。

■植栽環境について

- ・日照不足は徒長する場合があります。
- ・日陰の時間が多い場所は販売店にご相談ください。
- ・環境が良くない場合は、植栽苗数を増やし対応してください。

■植栽適期について

- ・3月中旬～10月初旬（関東地区基準）
- ・適期以外に植栽する場合、乾燥対策や防寒対策をおこなってください。
（目砂掛けや不織布ベタ掛けが効果的です。）

■植栽について

- ・雑草発生を助長させないためにも推奨肥料を使用し植え穴施肥をしてください。
- ・植栽後、足踏みなどで苗を転圧してください。
- ・植栽後10日間前後は灌水が必要です。（植栽時地面より若干低くすることで水が溜まり水遣りに有効です）
- ・被覆するまでは発生した雑草を除草してください。（除草しないと初期生育に影響があります。）

■被覆後の管理について

- ・クラピア被覆後に発生した雑草は取り除いてください。
- ・年に2回程度の刈込を行うと生育が良くなります。
- ・2年目以降は追肥をすると花つきや生育が良くなります。
- ・病気等が発生した場合は、速やかに対応してください。

管理の留意点



肥料不足で茎が放射状に広がっています。速効性肥料を散布してください。特に砂地の場合は施肥量を増やしてください。場合によっては追肥も必要になります。



茎や葉などに斑点ができ節間が伸び立ち上がる症状。



ドーナツ型に葉が枯れる症状。

左記のような症状が出た場合は、ご購入先に確認し適切に対処してください。

種苗登録について



- ・クラピアは種苗法による登録品種です。無断で栽培、増殖、譲渡、販売・輸出はできません。また違法行為は処罰の対象となることがあります。
- ・クラピア®は商標登録です。㈱グリーンプロデュースが総販売元です。
- ・ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、適切に植栽してください。
- ・製品仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・商品名、ロゴは弊社の商標または登録商標です。
- ・クラピアの枯れ補償はおこなっておりません。

発売元 株式会社グリーンプロデュース

〒323-0069 栃木県小山市上初田愛宕前636

TEL 0285-37-8833 FAX0285-37-8873

www.greenproduce.co.jp

販売店 ●お問合せは、下記に御用命ください。